

流 域 下 水 道 事 業 会 計
 令和 7 年度和歌山県流域下水道事業会計補正予算実施計画
 資本的収入及び支出
 収 入

款	項	目	既 決 予 定 額	補 正 予 定 額	計	備 考
1 資 本 的 収 入	1 企 業 債		千円	千円	千円	
			937,575	651,000	1,588,575	
			210,500	150,500	361,000	
	2 補 助 金	1 企 業 債	210,500	150,500	361,000	紀の川流域 82,500 紀の川中流流域 68,000
	3 負 担 金	1 国 庫 補 助 金	516,500	350,000	866,500	
			516,500	350,000	866,500	紀の川流域 150,000 紀の川中流流域 200,000
	1 建 設 負 担 金		210,575	150,500	361,075	
			210,575	150,500	361,075	紀の川流域 82,500 紀の川中流流域 68,000

支 出						
款	項	目	既 決 予 定 額	補 正 予 定 額	計	備 考
1 資 本 的 支 出	1 建 設 改 良 費		千円	千円	千円	
			1, 536, 343	651, 000	2, 187, 343	
			937, 650	651, 000	1, 588, 650	
		1 建 設 事 務 費	44, 650	31, 000	75, 650	紀の川流域 15, 000 紀の川中流流域 16, 000
		2 流 域 下 水 道 建 設 事 業 費	893, 000	620, 000	1, 513, 000	紀の川流域 工事請負費 300, 000 紀の川中流流域 工事請負費 320, 000

令和7年度和歌山県流域下水道事業予定キャッシュ・フロー計算書

(令和7年4月1日から令和8年3月31日まで)

千円

1 業務活動によるキャッシュ・フロー	
当年度純利益	40,261
減価償却費	1,480,790
長期前受金戻入額	△ 1,480,790
支払利息及び企業債取扱諸費	120,722
未収金の増加	△ 17,539
未払金の減少	△ 254,237
前受金の増加額	23,004
小計	△ 87,789
利息の支払額	△ 120,722
業務活動によるキャッシュ・フロー	△ 208,511
2 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△ 1,551,467
建設負担金による収入	370,718
国庫補助金による収入	866,500
他会計補助金による収入	598,768
投資活動によるキャッシュ・フロー	284,519
3 財務活動によるキャッシュ・フロー	
企業債による収入	393,400
企業債の償還による支出	△ 598,693
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 205,293
資金増減額	△ 129,285
資金期首残高	687,597
資金期末残高	558,312

債 務 負 担 行 為 に 関 す る 調 書

事 項	限 度 額	前年度末までの支払 義務発生（見込）額		当該年度以降の支払 義務発生予定額		左 の 財 源 内 訳			
		期 間	金 額	期 間	金 額	国庫支出金	企 業 債	そ の 他	繰 入 金
(追 加) 1 令和 7 年度紀の川流域 下水道改築（管路施設）	千円 100,000	—	千円 —	1 年	千円 100,000	千円 50,000	千円 —	千円 25,000	千円 25,000
2 令和 7 年度紀の川中流 流域下水道改築（管路 施設）	340,000	—	—	2 年	340,000	170,000	—	85,000	85,000

令和7年度和歌山県流域下水道事業予定貸借対照表

(令 和 8 年 3 月 31 日)

	千円	千円	千円	千円
資 産 の 部				
1 固 定 資 産				
(1) 有 形 固 定 資 産	57,407,114			
減 価 償 却 累 計 額	<u>△ 11,090,317</u>			
有 形 固 定 資 産 合 計		46,316,797		
(2) 無 形 固 定 資 産				
無 形 固 定 資 産 合 計		<u>12,750</u>		
固 定 資 産 合 計			46,329,547	
2 流 動 資 産				
(1) 現 金 預 金		558,312		
(2) 未 収 金		147,869		
(3) 前 払 金		<u>0</u>		
流 動 資 産 合 計			<u>706,181</u>	
資 産 合 計			<u><u>47,035,728</u></u>	
負 債 の 部				
3 固 定 負 債				
(1) 企 業 債		<u>6,434,948</u>		
固 定 負 債 合 計			6,434,948	
4 流 動 負 債				
(1) 企 業 債		617,114		
(2) 未 払 金		277,447		
(3) 前 受 金		175,993		
(4) そ の 他 流 動 負 債 合 計		<u>1,000</u>		
流 動 負 債 合 計			1,071,554	

5 繰 延 収 益
 (1) 長期前受金
 繰延収益合計
 負債合計

44,471,578
 △ 11,193,139

33,278,439
 40,784,941

資 本 の 部

6 資 本 金
 (1) 資 本 金
 イ 固 有 資 本 金
 資 本 金 合 計

14,149

14,149

7 剰 余 金
 (1) 資 本 剰 余 金
 イ 国 庫 補 助 金
 ロ その他資本剰余金
 資 本 剰 余 金 合 計
 (2) 利 益 剰 余 金
 イ 当 年 度 未 処 分 利 益 剰 余 金
 利 益 剰 余 金 合 計
 剰 余 金 合 計
 資 本 合 計
 負 債 資 本 合 計

4,293,542
 1,898,413

6,191,955

44,683

44,683

6,236,638
 6,250,787
 47,035,728

注

記

I. 重要な会計方針に関する注記

1 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産

・減価償却の方法

定額法による。

・主な耐用年数

建 物 8～50年

構 築 物 30～50年

機械及び装置 8～20年

工具器具及び備品 5～15年

車 両 6年

(2) 無形固定資産

・減価償却の方法

定額法による。

2 引当金の計上方法

・貸倒引当金

貸倒実績がないため、計上していない。

3 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は税抜方式によっている。

Ⅱ. 予定キャッシュ・フロー計算書に関する注記

該当なし。

Ⅲ. 予定貸借対照表に関する注記

予定貸借対照表に計上されている企業債（当年度末日の翌日から起算して1年以内に償還予定のものも含む。）のうち、一般会計が負担すると見込まれる額は7,052,062千円である。

Ⅳ. セグメント情報に関する注記

1 報告セグメントの概要

和歌山県流域下水道事業会計は、紀の川流域下水道（伊都処理区）、紀の川中流流域下水道（那賀処理区）を運営していることから、2つを報告セグメントとしている。

なお、各報告セグメントに属する事業の内容は次のとおりである。

施設の名称	処理する区域の存する市町
紀の川流域下水道	橋本市、かつらぎ町、九度山町
紀の川中流流域下水道	紀の川市、岩出市

2 報告セグメントごとの資産等

当年度（自 令和7年4月1日 至 令和8年3月31日）

（単位：千円）

	紀の川流域下水道	紀の川中流流域下水道	合 計
セグメント資産	22,701,981	24,333,747	47,035,728
セグメント負債	18,484,276	22,300,665	40,784,941
その他の項目			
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	241,506	1,422,899	1,664,405

V. 減損損失に関する注記

該当なし。

VI. リース契約により使用する固定資産に関する注記

該当なし。

VII. 重要な後発事象に関する注記

該当なし。

VIII. その他の注記

該当なし。